

大阪府の新たな文書回答 2015.5.18
質問事項3（原子力災害対策指針改定について）の再回答

福島県飯舘村の事例もあり、一概に「30km圏外においては特別な予防的措置は必要なし」とは言い切れないと考えます。
(大阪府)

この文書回答は、4月30日に「避難計画を案ずる関西連絡会」が大阪府に申し入れた際に、原子力災害対策指針改定に関する回答が、国の文書を説明するだけのものだったため、改めて回答を求めているものです。5月18日付で大阪府から再回答がありましたので、紹介します。

再回答では、国の改定指針が SPEEDI 等の予測的手法を使わず実測値での避難指示を行うことについて、「被ばくしなからの避難では安定ヨウ素剤の入手・服用は困難」とも回答しています。

【質問事項】

3．原子力災害対策指針改定版について

原子力規制委員会は、4月22日、原子力災害対策指針を改定しました。改定版は、下記のように、PPAの概念を削除する等、大きな問題があり、これでは住民の安全を守ることはできません。関西広域連合は、4月23日の委員会で、この問題も含めて、新たに国へ申し入れすることを決めました。そのことも踏まえて、下記に回答してください。

(1) 改定版では、PPA（プルーム通過時の被ばくを避けるための防護措置を実施する地域）の概念自体を削除しました。30km圏外においては特別な予防的措置は必要ないとし、基本的に「屋内退避」だけに限定しています。

PPAの予防的措置なしでは府民の安全は守れないのではありませんか。

(回答) 福島県飯舘村の事例もあり、一概に「30km圏外においては特別な予防的措置は必要なし」とは言い切れないと考えます。

関西広域連合の国への申し入れ（昨年12月25日）の第7項目「ようやく検討が始まったPPAにおける防護措置の導入(安定ヨウ素剤の投与、屋内退避等の防護措置等)について、速やかに結果を取りまとめて原子力災害対策指針に反映させること」に反するのではないのでしょうか。

(回答) 新指針ではPPAの概念が消えており、まずは概念が消えた理由について関西広域連合を通じて国へ説明を求めていきたいと考えます。

屋内退避の開始と解除はどのような基準で判断するのですか。

(回答) 具体的な内容などについては、関西広域連合を通じて国へ説明を求めていきたいと考えます。

(2) 原子力規制委員会・規制庁の資料では30km圏外では「安定ヨウ素剤の準備は不要」とまで書いています。

滋賀県等が行った原発事故時の放射性物質拡散シミュレーションの結果を踏まえれば、大阪府南部まで、I A E Aの安定ヨウ素剤服用基準50mSvを超える被ばくが予測されています。安定ヨウ素剤の準備なしに府民の安全は守れるのでしょうか。

(回答) 安定ヨウ素剤服用については、関西広域連合を通じて国へ説明を求めていきたいと考えます。

準備不要とされれば、箕面市など既に安定ヨウ素剤の備蓄・検討を進めている自治体の取り組みにブレーキをかけることになりませんか。

(回答) 方針を変更する自治体が出てくることはありうろと考えます。

(3) 30km圏外では、妊婦・乳幼児・子どもたちへの特別な防護措置も示されていません。特別な措置が必要ではないですか。

(回答) 避難行動要支援者に対する配慮は必要であると考えます。

(4) これまでの指針では、一時移転の基準としてO I L 2で、20マイクロシーベルト/時が計測されれば1週間以内に一時移転(避難)することになっていました。しかし、指針改定版では、翌日に再度この基準値を超えなければ避難の判断はしないことになっています。これで住民の安全は守れるのでしょうか。安全を守る上で、合理性があるのでしょうか。

(回答) 具体的な内容などについては、関西広域連合を通じて国へ説明を求めていきたいと考えます。

(5) S P E E D I等の予測的手法は使わず、実測モニタリングで避難等を指示するとなっています。

これでは、被ばくしながらの避難となり、安定ヨウ素剤の入手・服用の準備もできないのではないですか。

(回答) 被ばくしながらの避難では安定ヨウ素剤の入手・服用は困難であると考えられます。

実測モニタリングで十分だと考えますか。S P E E D I等も活用すべきではないですか。

(回答) S P E E D Iの扱いについては、関西広域連合を通じて国へ説明を求めていきたいと考えます。

(6) 国に対する新たな申し入れでは、文書回答を得て、規制庁に説明を求めるとのことでした。関西広域連合での説明だけでなく、広く市民に対しても説明を求めるべきではないですか。

(回答) まずは、国は関西広域連合へ説明をすべきと考えます。

2015年4月30日

避難計画を案ずる関西連絡会 (連絡先団体: グリーン・アクション/原発なしで暮らしたい丹波の会/脱原発はりまアクション/原発防災を考える兵庫の会/美浜の会)